

## 第51号

発行：令和3年4月

会員数：191名（3月末現在）

（家族会員=17名、個人会員=174名）

発行責任者：飯田 秀

編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

# 友の会だより

友の会事務局：

松阪市小野江町383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

（松阪市で検索してね）

## 「新年度の挨拶」

会長 飯田 秀



新年度を迎え、一言ご挨拶申し上げます。

平素は、「松浦武四郎記念館友の会」の活動に格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍の一年となり、全ての行事が縮小や中止になっており、武四郎が神鏡を奉納した天満宮を訪ねる恒例の研修バスツアーについても、延期するも感染拡大が治まらず中止となり、今年度に繰り越すことになりました。

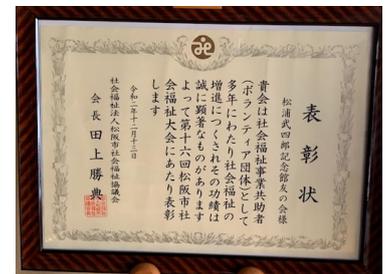
9月には、県内での研修として武四郎の足跡を訪ねる研修バスツアーを実施しました。武四郎が明治13年に大峰奥駆けの際に吉野へ向かう途中、高見峠を越えています。その時に「飯南の粥見」「飯高の舟戸」で泊まっており、その跡地を訪ねる研修バスツアーが実施できたことは、会長として感無量でした。

私の集大成の思いから、「友の会のあゆみ」を作成しました。その冊子の会員への販売についてを友の会誌に掲載し、会員の方々に伝え、発足からの歴史を感じて貰い、関心をもっていただくことが良かったと思います。三重県立図書館にも展示していただきまして、多くの県民の方々に「武四郎記念館友の会」の存在をPRできたことは武四郎を顕彰する意味でプラスになったと確信しています。

現在もコロナ感染が世界中に拡大しているのが現状であり、人々の活動が制限される歴史的な年ですが、今年度も3密にならないように留意し、マスク着用と手洗い消毒に心掛けて、今後の活動に務めていきたいと思っております。熟慮断行に心掛け、相互扶助・創意工夫を重視して、今期の活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方のご支援とご協力を切にお願い致します。

## 第16回松阪市社会福祉大会に於いて「友の会」が表彰されました！

松阪市社会福祉協議会会長表彰（加盟10年）になる15団体が表彰され、地元三雲管内からは2団体が表彰されました。その中に我々「松浦武四郎記念館友の会」が表彰されました。表彰状には「貴会は、社会福祉事業共助舎（ボランティア団体）として多年にわたり社会福祉の増進につくされ、その功績は誠に顕著なものであります。よって第16回松阪市社会福祉大会にあたり表彰します。令和2年12月13日」とあります。この名誉なことを共に喜び合いたいと思っております。



誕生地に展示された表彰状

市長からは、「本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の懸念から、関係者の方々の安全面を考慮し、皆様が一同にお集まりいただく式典と福祉フェスティバルをやむなく中止……。」また、田上社会福祉協議会会長からは、「本大会は、社会福祉へ功績顕著な方を表彰し、感謝の意を表す大会ですが、同時に老若男女を問わず地域の方々と繋がり、絆を感じる機会でもあり……。」とのコメントがあり、華々しくは無い表彰となりました。

## 友の会主催で「拓本体験会」を実施！

令和3年1月30日（土）、松浦武四郎記念館の会議室に於いて、友の会会員15人が拓本を体験しました。

講師は、松阪市で長く拓本をされてきた西村欣也さんと西村さんが指導する四五百の森（よいほのもり）拓本会のメンバー5人。

西村さんからプレゼンテーションをうけ、拓本とは何か、拓本の取り方などを詳しくうかがったあと、体験用に準備頂いた凸凹のある版木のような物を使って、実際に拓本をしました。参加者は、熱心に取り組まれ、西村先生から「とっても素晴らしい出来だ」とお褒めの言葉を頂き、満足のいく出来映えに笑顔あふれるひとときとなりました。西村さん始め会員の皆様のアドバイスのおかげと感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 『拓本体験会』に参加して 会員 田中 教子

コロナ禍で行事・催しの中止が続くなか、1月30日に武四郎友の会主催で「四五百の森拓本会」の皆様のご指導による拓本体験会に参加することができました。

拓本については、武四郎誕生地において拓本作品展示を見せて頂き、その会場で友の会会員で拓本会会員でもある出口様から色々とお話しを伺う機会もありました。その後、拓本を体験してみたいと思う気持ちは消えずにいましたところ、今回の企画を知り大変嬉しく思いました。

今回教えて頂いたことによりますと、拓本は、中国で生まれた技術で、その時期については不明ですが、唐の時代（618年～907年）の行書作品の拓本の巻末に墨書で唐の永徽<sup>えいぎ</sup>四年（653年）と記されていることから、唐代初期以前と考えられるとのこと。日本の奈良時代以前ということになるのでしょうか。

起源はさておき、拓本とは何か？それは、紙以外の金属や石、木に刻まれた文字を墨で紙に写し取ったもので、その技法は、湿拓と乾拓とがあり、この日教えて頂いたのは、湿拓ということです。

さて、生まれて初めての拓本作りのスタートです。

ドキドキしながら、代表で講師の西村欣也先生と拓本会の会員の方々に教えて頂きながら体験です。

その工程は、練習用に準備して頂いた拓板に拓本用の画仙紙を載せ、霧吹きでぬらした後、乾いた手拭いを巻きつけたブラシでたたき、拓本用の油墨をタンポ（綿を絹の布で包んだ道具）につけ、少しずつポンポンと墨を乗せていくと、細い線もくっきり写し取ることができました。

こうして制作に没頭し、あっという間に時が過ぎ、楽しく有意義な時間となりました。

西村先生はじめ会員の皆様には、準備からご指導後片付けまで本当にお世話になりました。そして、体験会を企画して頂いた友の会会長飯田秀様はじめ役員の方々有り難うございました。



会員のそばでアドバイスされる西村さん



うまくいったかなと拓本を見る会員さん



熱心に拓本に挑戦する田中さん（左）

## 体験会の拓本展を武四郎誕生地で開催

三月には、会員の皆様が拓本した作品の展示を誕生地で行いました。



松浦武四郎記念館入り口に案内ポスターを設置。  
誕生地には、写真や資料と共に会員の拓本が展示されました。



熱心に素晴らしい出来映えの拓本に見入っておられるお客様に  
出会い、拓本についてお話させて  
頂きました。

## 『エゾヤマザクラ』の紹介看板を新設

小野江公民館が新しく建設され敷地内に植えられているエゾヤマザクラを整備移植していただいたことを受けて、原田積善会から助成金を頂き、新たに看板を設置しました。また、古くなっていたものについては、新しく作り直しました。沢山の方々が春を待ち遠しく思っておられることでしょうか、喜びを分かち合うことにつながればこれほど嬉しいことは無いと思っています。ぜひご覧頂き、ゆっくりお花見をして頂ければと思います。まだまだ根がはっていないため満開の桜を見ることができていないのですが、北海道で見られる桜のように美しい花がいっぱいつけてくれることを願ってやみません。武四郎さんが愛したエゾヤマザクラ、満開になる日が楽しみです。

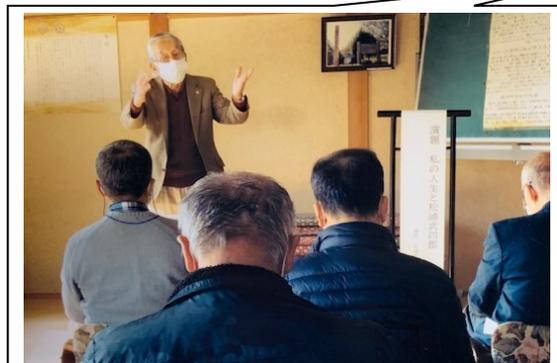


新しくした看板の前で

## 東畑精一「楷（かいじゅ）の会」の依頼を受けて飯田会長が講演

農業経済学者の東畑精一を顕彰する「楷の会」代表の森川茂幸会長から、昨年11月に「毎年講師をお呼びして話を聞いているので、今回は、飯田さんに」と講演依頼があり、2月13日（土）にコロナ禍でのこともあり、7名の参加でしたが、武四郎が幼少期読み書きを学んだ真覚寺に於いて、「私の人生と松浦武四郎」と題した講演となりました。

2歳で父親が戦死で、一人親で育ったことなど幼少時代の苦労話を含め、自身の生い立ちや友の会の活動を交えながら、武四郎の生涯についてエピソードを入れて分かりやすく紹介されました。会員の方々は、メモを取りながら熱心に耳を傾けておられました。飯田会長は、このような活動も武四郎のPRに繋がることになり良かったのではないかと振り返っておられました。



真覚寺で講演する会長

## 【 記念館よりお知らせ 】

### ☆記念館講座のご案内

5月9日(日)10:00～：テーマ：「未定」

講師：山本命主任学芸員

6月13日(日)10:00～：未定

7月11日(日)10:00～：未定

8月8日(日)10:00～：未定

### ☆展示のご案内

3月16日～5月9日「武四郎と幕末維新」

幕末の志士たちや幕臣など多くの人物と交流する姿や、志士としても活躍する武四郎の姿を紹介しています。

## 【友の会よりのお知らせ】

※新型コロナウイルス(COVID-19)の感染は、本県について3月11日現在、2586人(内松阪市だけでも113人)の感染が確認されています。県外からの入館者もあることから、本記念館での多人数の会は自粛せざるを得なくなりましたが、リニューアル工事の直前ということで、4月は、記念館会議室で人数制限をして実施。5月も同様に実施します。その後は、小野江公民館会議室が使えるとのことで、記念館北側の小野江公民館の駐車場へ入れて頂き、感染予防を徹底して人数制限をした上で実施する予定です。

※松浦武四郎記念館は、令和3年5月10日から令和4年5月まで、リニューアル工事のため休館し、事務所は、振興局に移します。

令和3年4月に小野江公民館がオープン、6月から武四郎講座をここで開催することに！

松浦武四郎記念館がリニューアルするために休館されるとのことで、今後どうなるのかと心配されておられるのではないかと思います。事務局はしばらくの間小野江公民館に置かれるとのこと。また、6月からの講座は、小野江公民館の大会議室を使用できるとのことです。お楽しみに。



### 今後の予定

5月9日(日)「総会」を開催します。

場所:松浦武四郎記念館会議室 (密にならないようにとのこと)

時間:講座修了後11時頃の予定

※受付で今年度の会費を集めますので、ご持参ください。

年会費500円(個人会員)です。

7月7日(水)～11日(日)「松阪市偉人たち展」を開催

オープニングセレモニーなど縮小しての開催となる予定だそうですが、他団体との交流の場でもあり、楽しみにしたいと思います。

### 会員懇談会の中止

毎年、年末か年始には行ってきました懇談会ですが、昨年度は中止となりました。三月の講座にご出席された方々にはアンケートを実施しましたが、ご意見がある方は記念館事務局までFAXやお手紙などで届けていただければ幸いです。

なるべく多くの要望に応えたいと思います。まとめたものは、8月号に掲載します。

### 会費の納入について

令和3年度の年会費を、総会で納入できなかった方は、8月迄にお願い致します。口座振込みをご希望の方は、役員または記念館事務局へお問い合わせください。休館中は、振興局におられるそうです。

次回の発行は、  
8月の予定です。

